

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 1 月 8 日(2025.1.8)

【公開番号】特開 2024-72715(P2024-72715A)
【公開日】令和 6 年 5 月 28 日(2024.5.28)
【年通号数】公開公報(特許)2024-097
【出願番号】特願 2022-183714(P2022-183714)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 12 月 24 日(2024.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の代表的な一形態では、ゲームを実行可能な遊技制御手段を備える遊技機が提供される。遊技制御手段は、プログラムを記憶するプログラム記憶手段と、プログラムによって所定の演算処理を実行可能であり、プログラム記憶手段における実行される命令のアドレスをジャンプさせる第 1 分岐命令と第 2 分岐命令を実行可能に構成された演算処理手段と、演算処理を行う際に値が記憶される複数のレジスタと、演算処理手段によって更新される情報を記憶可能な更新情報記憶手段と、ゲームに関する複数種類の乱数を記憶する乱数記憶手段と、を備える。第 1 分岐命令は、所定の命令長の分岐命令である。第 2 分岐命令は、分岐可能なアドレスの範囲が制限されて、第 1 分岐命令よりも命令長が短く、且つ特定のフラグを判断して分岐を行う分岐命令である。プログラム記憶手段は、プログラムとして、遊技制御用の第 1 プログラムを第 1 プログラム記憶領域に記憶し、非遊技制御用の第 2 プログラムを第 2 プログラム記憶領域に記憶する。第 1 プログラムは、第 1 サブルーチンと、第 1 サブルーチンよりも小さいプログラム容量で構成された第 2 サブルーチンと、を含んで構成される。第 1 サブルーチンは、第 1 分岐命令と第 2 分岐命令とを含む。第 2 サブルーチンは、第 2 分岐命令を含み第 1 分岐命令を含まない。乱数記憶手段に記憶された複数種類の乱数をゲームの実行開始時に順次判定してゲームの結果を決定する決定処理は、第 1 プログラムに含まれる。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

40

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゲームを実行可能な遊技制御手段を備える遊技機において、
前記遊技制御手段は、
プログラムを記憶するプログラム記憶手段と、
前記プログラムによって所定の演算処理を実行可能であり、前記プログラム記憶手段における実行される命令のアドレスをジャンプさせる第 1 分岐命令と第 2 分岐命令を実行可

50

能に構成された演算処理手段と、

前記演算処理を行う際に値が記憶される複数のレジスタと、

前記演算処理手段によって更新される情報を記憶可能な更新情報記憶手段と、

前記ゲームに関する複数種類の乱数を記憶する乱数記憶手段と、

を備え、

前記第 1 分岐命令は、所定の命令長の分岐命令であり、

前記第 2 分岐命令は、分岐可能なアドレスの範囲が制限されて、前記第 1 分岐命令よりも命令長が短く、且つ特定のフラグを判断して分岐を行う分岐命令であり、

前記プログラム記憶手段は、前記プログラムとして、遊技制御用の第 1 プログラムを第 1 プログラム記憶領域に記憶し、非遊技制御用の第 2 プログラムを第 2 プログラム記憶領域に記憶し、

10

前記第 1 プログラムは、第 1 サブルーチンと、前記第 1 サブルーチンよりも小さいプログラム容量で構成された第 2 サブルーチンと、を含んで構成され、

前記第 1 サブルーチンは、前記第 1 分岐命令と前記第 2 分岐命令とを含み、

前記第 2 サブルーチンは、前記第 2 分岐命令を含み前記第 1 分岐命令を含まず、

前記乱数記憶手段に記憶された前記複数種類の乱数を前記ゲームの実行開始時に順次判定して当該ゲームの結果を決定する決定処理は、前記第 1 プログラムに含まれる、

遊技機。

20

30

40

50